



支部だより 創刊のことば

—汝の城を守れ—

東京支部長 小 平 祐

「—のアッシュをしつかり探せ

ば、必ず收穫はある。Stick to your

bush!」

と諭してくれた。

私にとって、清陵同窓会は一つの
「アッシュ」である。訪れる度に古
い友が甦り、新しい言葉に出会う。

定期総会案内

一、日 時 十月二十日(土)午後四時半

一、場 所 東洋軒(日本青年館4階)

電話 ○三一四七五一一五二五

(JR信濃町・千駄ヶ谷駅、地下鉄外苑前駅下車)

一、議事

- (1) 一九八九年度会務・決算報告
- (2) 一九九〇年度事業報告

一、会費

一、会費(七、〇〇〇円)

(当番幹事57回生、次期当番幹事58回生 サブ幹事67・77回生)

“Stick to your bush.” 十月十九日
諏訪中学校三年生の英語の時間で、
小笠原常蔵先生は、このエッセイ
のさわりを“汝の城を守れ”と訳さ
れた。大変味わい深い言葉である。
あれから五十年の歳月が流れた。

“友達と祖父とで、森へグーズベリ
を摘みに行つた。中々とれなくて、
棘に刺されながら、次々と新しい棘
を探した。でも空しく、疲れ果てて
森を出た。

所が、祖父の籠には美しいグーズ

の実が溢れていた。祖父は、

“to,” という慣用句が、大変意味の深
いものであることも学んだ。

シュー”の中に、新しい発見をするこ
とが多い。その度に、私の胸に、こ
の言葉が浮んだものである。“Stick
to,” といふ慣用句が、大変意味の深
いものであることを学んだ。



創刊号

編集・発行
諏訪清陵高等学校
同窓会東京支部
事務局
〒270-11
我孫子市白山2-15-2
林尚孝方
TEL 0471-83-2726

小平支部長、テレビに出演

十月十四日、藤原弘達氏と対談

東京支部小平祐支部長(42回、日本
農業株式会社取締役社長)が、テレビ
で、テレビ東京で毎週日曜日朝放送し

て、放送は十月十四日(日)、午前九時
から、テレビ東京(12チャンネル)。

テレビ東京で毎週日曜日朝放送し
ているシリーズ番組「藤原弘達のグ
リーン放談」の対談相手として出演
するもので、先日録画収録が行われ

て、なおこれは、日経映像制作の番組
で、同社の名取康氏(57回)の肝入り
で実現したものである。

日頃のご支援に感謝しつつ

長野県諏訪清陵高校同窓会東京支部の皆様に紙上をお借りして、母校への日頃のご支援に感謝申し上げる。この日頃のご支援に感謝申し上げるとともに、「支部だより」創刊のお祝いを申し上げます。創立八十周年記念以来県下稀に見る素晴らしい盛り上がりの中で、大きくなはばたいておられる清陵同窓会のエネルギーは、長年培われてきた「東京支部」がその発火点と承っております。校長室の書棚に納められているすこし古ぼけた東京支部の「会員名簿」が、その事を如実に物語つてありますように思っています。

とくに、昨年お邪魔した支部総会の熱気は、今ありありと思い出しております。この度の「支部だより」創刊は、脈々と受け継がれているその熱気のなせる業と思い、まことにご同慶の至りであります。そこで母校の近況の一つであります。先生方の声が、裏山のセミの声をすが、近年夏の風物詩ともなりまし

学校長 持田明夫

た「高校野球」が善光寺お膝元長野市においておこなわれ、我が清陵は参加九十六校中見事ベスト8進出を

いましたが、故郷長野県の大学進学スクールとしては本校だけであり、

「文武両道」への片目は開いたかな！の思いであります。小つぶといわれながらの、また「一般化」の冷風の中での頑張りであり、残念ながらベスト4入りは果せませんでした

が、選手諸君を虚心に讃えたいと

思います。球場周辺も清陵のさわや

立高校の現状は、とくに東京において著しいと聞いております。中高一貫六年制学校により片隅に追いやり

りますが、ここ諏訪の地においては何とか歯止めをかけたいと熱汗をとばす近頃であります。「承知かと思

います。本年は一段と暑氣厳しい公

立高校の現状は、とくに東京において著しいと聞いております。中高一

貫六年制学校により片隅に追いやり

ています。清水ヶ丘よりの挨拶といしま

しては、一層、健康に留意され、清

れようとしている公高校教育ではあ

りますが、ここ諏訪の地においては

何とか歯止めをかけたいと熱汗をと

ばす近頃であります。「承知かと思

います。故郷長野県の大学進学

率・とくに現役進学率はすっかり低

迷しており(全国45位)、農民的課題

になってしまいます。本校とても例外

ではなく現役進学率四三%の状況に

あります。「率」と呼ばれる事は

鏡割り…乾杯…そして懇親会と続いた当日の詳細は全て宮坂健二君(58回)のカメラで、一時間半のビデオに納められています。実はこの『総会の記録を映像で残しておこう』というのも、当学年幹事会が考えたいわば隠れたイベントの一つなのです。

肩を組み合い青春に想いを馳せながら、高らかに歌い上げた校歌などの音声と一緒に近づいて来ていました。この、本音で語り合えるふるさとの仲間たちとの再会の場を、までも大切にしたいものです。

(b) データベースの内容・次の項目についてデータを収録。
①会員区分、②年次、③会員番

(c) データベースの充実・将来は次の項目を加え名簿作成の資料としたい。
⑯出身地、⑰勤務先、⑱役職、

(d) 首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、栃木、茨城)在住の同窓生(但し、退会申入れ者を除く)。
② 転居して首都圏を離れたが支部会費を納入している同

齊唱…あの日の出席者一人一人の記録が、オフィシャルな言葉が、そ

こには、細大漏らさず記録され、事務局に保存されています。

② 東京支部人名録(昭和五十年版)のデータ(凸版印刷入力)を購入し、将来①の

物故、⑩総会出欠データ、⑪アンケート回答、⑫会費納入額、

⑬会費納入日、⑭異動に関する情報、⑮メモ。

⑯勤務先TEL、⑰勤務先住所

を基礎資料としている。

② 東京支部人名録(昭和五十年版)のデータ(凸版印刷入力)を購入し、将来①の

物故、⑩総会出欠データ、⑪アンケート回答、⑫会費納入額、

⑬会費納入日、⑭異動に関する情報、⑮メモ。

⑯勤務先TEL、⑰勤務先住所

その他を加える。

データベースと東京支部の現況

東京支部会員への文書連絡はこれまで宛名を手書きすることによって郵送してきた。しかし、四千名近い会員への連絡を手書きによることは労力的にも困難になつた。昨年度

B) ロジテックLHD
34 V E
LP-700○○

(b) ソフトウェア関係

機器用品”をそろえ、パソコンによるデータベース化を行つた。データベースの現状とそれに基づく東京支

① データベースプログラム
ビーコン社Rベース・プロ

印刷DBから変換

② 東京支部人名録DB・凸版

一、データベース機器・備品の現状

(a) データ入力の基礎資料

① 九十周年記念名簿(一九八六年五月発行)に基づいて

① ハードディスク(40M
手持機器を利用)

同窓会本部で入力したデータ

① 年次別現勢

回	現員	不明	計(費)	回	現員	不明	計(費)	回	現員	不明	計(費)
13	1	0	1(0)	41	67	0	67(45)	68	86	0	86(14)
17	2	0	2(1)	42	57	0	57(33)	69	78	5	83(17)
18	2	0	2(1)	43	72	0	72(41)	70	86	2	90(16)
19	3	0	3(1)	44	71	0	71(29)	71	64	0	64(10)
20	3	1	4(2)	45	65	0	65(34)	72	57	4	61(10)
21	10	0	10(3)	46	83	1	84(47)	73	47	4	51(6)
22	8	0	8(5)	47	84	0	84(42)	74	62	5	67(9)
23	11	0	11(7)	48	85	1	86(33)	75	46	1	46(7)
24	7	1	8(1)	49	134	0	134(39)	76	34	1	37(2)
25	15	0	15(3)	50	111	0	111(38)	77	48	3	51(12)
26	13	1	14(1)	51	122	0	121(45)	78	39	3	42(7)
27	16	0	16(9)	52	134	1	135(42)	79	37	4	41(7)
28	33	0	33(17)	55	35	0	35(12)	80	18	5	23(4)
29	18	0	18(7)	56	128	0	128(39)	81	26	5	31(2)
30	21	0	21(11)	57	129	1	130(41)	82	17	2	19(3)
31	28	1	29(9)	58	115	2	117(30)	83	80	1	81(5)
32	37	1	38(19)	59	112	2	114(26)	84	7	1	8(0)
33	35	0	35(13)	60	98	12	110(37)	85	5	0	5(1)
34	39	0	39(18)	61	96	1	97(22)	86	2	0	2(0)
35	37	0	37(21)	62	94	3	97(23)	87	1	0	1(0)
36	43	1	44(22)	63	103	2	105(30)	88	1	0	1(0)
37	31	1	32(16)	64	77	1	78(30)	89	3	0	3(0)
38	50	0	50(33)	65	71	2	73(14)	92	1	0	1(0)
39	45	0	45(23)	66	89	2	91(17)				
40	43	0	40(23)	67	75	0	75(11)	計	3790 (38)	(1194)	

注 1) ()内は会費納入者の人数

2) 不明者は以前東京支部に登録されていて現在住所不明のもの

② 納入額総計 3,833,800円

内訳	~1987年4月	小計	70,000円	(7名)
	1987年4月~	小計	3,378,200円	(1,111名)
	1988年4月~	小計	342,000円	(110名)
	1989年4月~	小計	49,000円	(9名)
	1990年4月~	な	し	

